

■開講科目一覧■

2024 年度入学 幼児教育科 1 回生

●基礎教育科目●

科目名		形態	単位	年次	学期	卒	幼	保	ナンバリング	受講要件	担当者
一般教養科目	文化と歴史	ダンス入門	講	2	1	前			LH1L		西村 真子
		児童文化	講	2	(高)	(通*)			LH1L		松浪 将浩, 松浦 左知子
		ピアノ入門	演	1	(高)	(通*)			LH1E		松浪 将浩
	社会と人間	日本国憲法	講	2	1	前	○		LS1L		森 征樹
		人権を学ぶ	講	2	1	前			LS1L		黒田 浩継
	地球と自然	生物の多様性	講	2	1	前			LN1L		島田 和秀
外国語目	英語 A	演	1	1	前/後		△		LF1E		Peter Shelly
	英語 B	演	1	1	前/後		△		LF1E		鯨坂 はるよ
	英語 C	演	1	2	前				LF2E	GPA1.0	(鯨坂 はるよ)
	英語 D	演	1	2	後				LF2E	GPA1.0	(鯨坂 はるよ)
	英語 E	演	1	-	-				LF2E		未開講
	中国語 A	演	1	1	-		△		LF1E		未開講
	中国語 B	演	1	1	-		△		LF1E		未開講
	韓国語 A	演	1	1	前		△		LF1E		金 光敏
	韓国語 B	演	1	1	後		△		LF1E		金 光敏
情報処理科目	コンピュータ・リテラシ A	演	1	1	前	●			LI1E		森 大樹
	コンピュータ・リテラシ B	演	1	1	後	●			LI1E		森 大樹
	コンピュータ・リテラシ C	演	1	2	後	●			LI2E	GPA1.0	(森 大樹)
	コンピュータ・リテラシ D	演	1	2	-	●			LI2E		(未開講)
	データサイエンス入門	講	1	1	前				LI1L		森 大樹
保健体育科目	体育理論	講	1	1	後		○	○	LP1L		相奈良 律
	体育実技	実	1	1	前		○	○	LP1P		相奈良 律
キャリア支援科目	保育基礎	講	2	(高)	(通*)				LC1L		松浦 左知子
	キャリアデザイン I	講	2	1	通*				LC1L		阪田 啓代
	キャリアデザイン II	講	2	2	通*				LC2L		(阪田 啓代)

ス入門(必修)を含む
8 単位以上(一般教養科目 4 単位以上(必修、コンピュータ・リテラシ A・B のうち 1 単位以上(必修、データサイエンス)

[注] 担当者欄 2 回生次担当者は未定。参考のため(氏名)として今年度担当者を記載

形態欄: 講=講義 演=演習 実=実習実技

年次欄: 1=1 回生時 2=2 回生時 高=高短連携科目

学期欄: 前=前期 後=後期 通=通年(30 回) 通*=通年(15 回)

集=集中

前、後 = 春学期, 夏学期, 秋学期, 冬学期

2 回生開講学期は変更する場合がある

学年・学期をまたがる場合の表示: 1 または 2 => "1/2" 1 かつ 2=> 1・2

卒=卒業要件 幼=幼稚園教諭二種免許状 保=保育士資格

凡 例	
□	— 2 単位以上必修(卒)
○	— 必修科目(卒・幼・保)
無印	— 選択科目(卒・幼・保)
★	— 4 単位以上必修(卒)
■	— 2 単位必修(卒)
◆	— 2 単位以上必修(卒)
●△	— 2 科目 2 単位以上必修(幼)
◇▼	— 1 科目必修(幼保)
AB	— A 2 科目または B 2 科目必修(保)
C	— 2 単位必修(保)

●専門科目●

科目名		形態	単位	年次	学期	卒	幼	保	ナンバリング	受講要件	担当者
保育内容領域に関する専門的事項	幼児と健康	演	1	1	後	□	○	○	MF1E		本山 司
	幼児と人間関係	演	1	1	前	□	○	○	MF1E		石上 浩美
	幼児と環境	演	1	1	後	□	○	○	MF1E		柳原 高文
	幼児と言葉	演	1	1	前集	□	○	○	MF1E		寄 ゆかり, 西元 咲文
	幼児と表現	演	1	1	前	□	○	○	MF1E		大浦 知加
	表現技術(ピアノⅠ)	演	1	1	前	□	○	○	MF1E		寄 ゆかり 他
	表現技術(ピアノⅡ)	演	1	1	後	□	○	○	MF2E		寄 ゆかり 他
	表現技術(造形Ⅰ)	演	1	1	前	□	○	○	MF1E		東 景子
	表現技術(造形Ⅱ)	演	1	1	後	□	○	○	MF2E		東 景子
保育内容の指導法	保育内容総論	演	1	1	前	□	○	○	MT1E		石上 浩美
	保育内容の指導法(健康Ⅰ)	演	1	2	後	□	○	○	MT1E		(本山 司)
	保育内容の指導法(健康Ⅱ)	演	1	2	-	□	◇	○	MT2E		(未開講)
	保育内容の指導法(人間関係)	演	1	2	後	□	○	○	MT1E		(石上 浩美)
	保育内容の指導法(環境)	演	1	2	前	□	○	○	MT1E		(柳原 高文)
	保育内容の指導法(言葉Ⅰ)	演	1	2	前	□	○	○	MT1E		(杉田 律子)
	保育内容の指導法(言葉Ⅱ)	演	1	2	前集	□	◇	○	MT2E		(杉田 律子)
	保育内容の指導法(造形表現Ⅰ)	演	1	2	前	□	○	▼	MT1E		(東 景子)
	保育内容の指導法(造形表現Ⅱ)	演	1	2	後	□	○	▼	MT2E		(東 景子)
	保育内容の指導法(音楽表現Ⅰ)	演	1	2	前	□	○	◇	MT1E		(大浦 知加 他)
	保育内容の指導法(音楽表現Ⅱ)	演	1	2	後	□	○	◇	MT2E		(寄 ゆかり 他)
	保育内容の指導法(音楽表現Ⅲ)	演	1	2	後	□	○	○	MT2E		(寄 ゆかり)
	保育内容の指導法(総合表現)	演	1	2	後	□	○	○	MT1E		(大浦 知加)
教育と保育に関する基礎的理解等	教育学	講	2	1	前	■	○	○	MB1L		松浦 善満
	教職・保育者論	講	2	1	前		○	○	MB1L		板倉 史郎
	教育制度論	講	2	2	後		○		MB1L		(松浦 善満)
	教育心理学	講	2	1	後	◆	○	○	MB1L		石上 浩美
	特別支援教育	演	1	1	後		○	○	MB1E		土居 隆
	特別支援教育・保育演習	演	1	2・3	前			○	MB2E		(土居 隆)
	教育課程論	講	2	1	後		○	○	MB1L		石上 浩美
	保育方法論	講	2	2	後		○	○	MB1L		(石上 浩美)
	乳幼児理解	演	1	2	前	◆	○	○	MB1E		(石上 浩美)
	教育相談	講	1	2・3	後		○	○	MB1L		(土居 隆)
	教育実習Ⅰ	実	2	1	後集		○		MB2T		板倉 史郎, 本田 和隆 他
	教育実習Ⅱ	実	2	2	前集		○		MB2T		(板倉 史郎, 本田 和隆 他)
	教育実習指導	演	1	1 2	通 前		○		MB2E		板倉 史郎, 本田 和隆 (板倉 史郎, 本田 和隆)
	保育・教職実践演習	演	2	2・3	後		○	○	MB2E		(板倉 史郎)
	保育と福祉	保育原理	講	2	1	前	■		○	MW1L	
子ども家庭福祉		講	2	1	後	★		○	MW1L		本田 和隆
社会福祉		講	2	1	前	★		○	MW1L		溝渕 淳
子ども家庭支援論		講	2	2	後			○	MW1L		(本田 和隆)
社会的養護Ⅰ		講	2	1	後	★		○	MW1L		本田 和隆
社会的養護Ⅱ		演	1	2・3	前			○	MW2E		(本田 和隆)
子ども家庭支援の心理学		講	1	2・3	後	◆		○	MW1L		(土居 隆)
子どもの保健		講	2	1	後			○	MW1L		西村 玲子
子どもの食と栄養		演	2	2	前(理論) 後(実習)			○	MW1E		(人見 玲子)
乳児保育Ⅰ		講	2	1	後			○	MW1L		今井 美樹
乳児保育Ⅱ		演	1	2・3	前			○	MW2E		(今井 美樹)
子育て支援		演	1	2・3	後	★		○	MW1E		(鯉坂 はるよ)
保育実習Ⅰ(保育所)		実	2	1	後集			○	MW2T		板倉 史郎, 本田 和隆 他
保育実習Ⅰ(福祉施設)		実	2	2	前集			○	MW2T		(板倉 史郎, 本田 和隆 他)
保育実習指導Ⅰ(保育所)		演	1	1	通			○	MW2E		板倉 史郎, 本田 和隆
保育実習指導Ⅰ(福祉施設)		演	1	1 2	後 前			○	MW2E		板倉 史郎, 本田 和隆 (板倉 史郎, 本田 和隆)
保育実習Ⅱ		実	2	2	前集			A	MW2T		(板倉 史郎, 本田 和隆 他)

科目名		形態	単位	年次	学期	卒	幼	保	ナンバリング	受講要件	担当者
目 社 教育・保育・福祉 関連・発展科	保育実習指導Ⅱ	演	1	2	前			A	MW2E		(板倉 史郎, 本田 和隆)
	保育実習Ⅲ	実	2	2	前集			B	MW2T	GPA1.0	(板倉 史郎, 本田 和隆 他)
	保育実習指導Ⅲ	演	1	2	前			B	MW2E	GPA1.0	(板倉 史郎, 本田 和隆)
	器楽活用法Ⅰ	演	1	2	後			C	MW2L	GPA1.0	(寄 ゆかり, 他)
	器楽活用法Ⅱ	演	1	2	-			C	MW2L	GPA1.0	(未開講)
	こども音楽療育概論	講	2	1	後			C	MA1L		小原 敦子
	こども音楽療育演習	演	1	2	集			C	MA2E	GPA1.0	(寄 ゆかり)
	こども音楽療育実習	実	1	2	集			C	MA2P	GPA1.0	(大浦 知加)
キャンパスライフサポート	演	2	1	-				MA1E		(未開講)	
ゼミナール	ゼミナールⅠ	演	2	1	通	○		○	MS1E		各ゼミ担当
	ゼミナールⅡ	演	2	2	通	○		○	MS2E		(各ゼミ担当)

[注] 担当者欄 2 回生次担当者は未定。参考のため「(氏名)」として今年度担当者を記載

形態欄: 講=講義 演=演習 実=実習実技

年次欄: 1=1 回生時 2=2 回生時 高=高短連携科目

学期欄: 前=前期 後=後期 通=通年(30 回) 通*=通年(15 回)

集=集中

前, 後 = 春学期, 夏学期, 秋学期, 冬学期

2 回生開講学期は変更する場合がある

学年・学期をまたがる場合の表示: 1 または 2 => “1/2” 1 かつ 2=> 1・2

卒=卒業要件 幼=幼稚園教諭二種免許状 保=保育士資格

凡 例	
□	— 2 単位以上必修(卒)
○	— 必修科目(卒・幼・保)
無印	— 選択科目(卒・幼・保)
★	— 4 単位以上必修(卒)
■	— 2 単位必修(卒)
◆	— 2 単位以上必修(卒)
●△	— 2 科目 2 単位以上必修(幼)
◇▼	— 1 科目必修(幼保)
AB	— A 2 科目または B 2 科目必修(保)
C	— 2 単位必修(保)

科目ナンバリングについて

下表の 3 つの記号を組み合わせたものを「科目ナンバリング」と言います。

科目ナンバリング = 科目区分 + 科目レベル + 授業形態

科目区分	記号
基礎	
一般	
文化と歴史	LH
社会と人間	LS
地球と自然	LN
外国語	LF
情報処理	LI
保健体育	LP
キャリア	LC
専門	
保育内容・領域	MF
指導法	MT
保育教職基礎	MB
保育福祉	MW
関連・発展科目	MA
ゼミナール	MS

科目レベル	記号
レベル	
概論・入門	1
詳細・発展	2

授業形態	記号
講義	L
演習	E
実技・実習	P
現地実習	T

これは科目の特徴を表す記号で、例えば「社会福祉」の場合、上の表で

保育福祉に関する科目=MW, 概論・入門的科目=1, 講義による授業=L
なので「MW1L」が科目ナンバリングです。

卒業要件

2024 年度入学 幼児教育科 1 回生

基礎教育科目	一般教養科目	文化と歴史	4 以上	① 8 以上 (a)	③	④ 合計 62 単位 以上 (a+b+c)	
		社会と人間					
		地球と自然					
	外国語科目						
	情報処理科目						
保健体育科目							
キャリア支援科目							
専門科目	必修	ゼミナールⅠ	2	4	② 38 以上 (b)		
		ゼミナールⅡ	2				
	選択必修	□印のうち 2 単位以上		2 以上			10 以上
		★印のうち 4 単位以上		4 以上			
		■保育原理又は教育学		2 以上			
		◆印のうち 2 単位以上		2 以上			
選択	その他の科目		24 以上				

履修方法

- ① 基礎教育科目 下記必修科目含む 8 単位以上
 - ・必修科目 一般教養科目から 4 単位以上
コンピュータ・リテラシ A・B のうち 1 単位以上
データサイエンス入門 1 単位
- ② 学科専門科目 38 単位以上
 - ・必修科目 「ゼミナールⅠ」(2 単位)
「ゼミナールⅡ」(2 単位)
 - ・選択必修科目(10 単位以上)
 - 「幼児と人間関係(1 単位)」「幼児と環境(1 単位)」「幼児と言葉(1 単位)」「幼児と表現(1 単位)」
 - 「幼児と健康(1 単位)」「表現技術(ピアノⅠ)(1 単位)」「表現技術(ピアノⅡ)(1 単位)」
 - 「表現技術(造形Ⅰ)(1 単位)」「表現技術(造形Ⅱ)(1 単位)」
 - 「保育内容総論」「保育内容の指導法(健康Ⅰ)」「保育内容の指導法(健康Ⅱ)」
 - 「保育内容の指導法(人間関係)」「保育内容の指導法(環境)」「保育内容の指導法(言葉Ⅰ)」
 - 「保育内容の指導法(言葉Ⅱ)」「保育内容の指導法(造形表現Ⅰ)」「保育内容の指導法(造形表現Ⅱ)」
 - 「保育内容の指導法(音楽表現Ⅰ)」「保育内容の指導法(音楽表現Ⅱ)」「保育内容の指導法(音楽表現Ⅲ)」
 - 「保育内容の指導法(総合表現)」
 - ★(福祉) : 4 単位以上
「社会福祉(2 単位)」「子ども家庭福祉(2 単位)」
「社会的養護Ⅰ(2 単位)」「子育て支援(1 単位)」
 - (保育・教育) : 2 単位以上
「保育原理(2 単位)」「教育学(2 単位)」
 - ◆(発達・心理) : 2 単位以上
「教育心理学(2 単位)」「乳幼児理解(1 単位)」「子ども家庭支援の心理学(1 単位)」
- ③ 選択科目 24 単位以上
- ④ 基礎教育科目または専門科目の中から、さらに 16 単位以上
- ⑤ ①②③の要件をすべて満たしつつ、合計 62 単位以上
- ▼単位互換科目
 - (放送大学科目) 3 科目 6 単位まで、卒業必要単位数に含むことができる。ただし、基礎教育科目に位置づける。
 - (高野山大学連携協定科目) 高野山大学文学部教育学科 教養科目/体験サポート科目を、本学卒業必要単位数に含むことができる。ただし、一般教養科目に位置付ける。